



新たな年度が始まりほぼ2ヵ月が経ちました。新型コロナウイルス感染症は新たな変異を繰り返して私たちの生活を脅かしています。人類は過去にも天然痘、ペスト、結核、スペイン風邪、新型インフルエンザなどの感染症に対して多くの犠牲者を出しながら闘い、場合によっては共存しながら克服を繰り返してきました。今のところ新型コロナウイルスの弱点を見つけ、それに対応することがベストですが、首根っこを捕まえるような弱点はまだ見つかっていません。しかしその中でワクチン接種という武器を手に入れることができました。変異株には不透明なところがありますが有効率はとても高く感染予防と体調管理をしながら多くの方がワクチンを受けられるのが良いと思います。（もちろんアナフィラキシーショック等の既往や体調不良のため受けられない方もおられますし、まだワクチンを受けない権利もあります。）

また今年度は嬉しいことに常勤医が1人増員となり3人となりました。鈴木宏昌先生は救急科の専門医で、東日本大震災津波の時にはDMAT隊で活躍され被災した県立山田病院入院患者さんの搬送も担当しました。当院では総合診療科長として内科外来や訪問診療、ワクチン接種など広範囲に活躍していただいております。

これからも山田町民と協力しながらより良い医療を実践できるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。



着任した鈴木宏昌医師のご紹介

4月より県立病院に着任いたしました鈴木宏昌（スズキヒロマサ）と申します。前号でご紹介いただきましたように、私は10年前DMAT（災害派遣医療チーム）の一員としてこの地を訪れる機会がありました。津波により機能を失ってしまった旧山田病院の入院患者様を安全な医療機関に移送するミッションでしたが、津波の被害を目の当たりにし、自然の破壊力の強さに圧倒され、救急医としての非力さを思い知らされました。それ以来、何かもう少し医師として役立つことはなかったのかという思いが残っていました。今回こうした機会を頂き、微力ながらこの地域の医療のお役に立てればと思います。よろしくお願いたします。

私は、震災以前にも宮古や山田町を訪れる機会があり、この地の美しく豊かな自然を大変気に入っていました。震災後も何度かこの地を訪れ、復興の様子も拝見する機会がありました。津波の破壊力は人力の及ぶところではありませんが、人々の営みもまた留まることなく、常に歩み続けているのだということを実感させられます。

私は救急医学を専門としてきました。生死を分ける医療の戦場とも言える分野です。一方、救急医療は『医療の原点』だとも言われます。急病になり、怪我をして最初に接する医療の門戸だからでもあるでしょう。私は、2000年から2011年まで茨城県の境町という、千葉県・埼玉県・栃木県・群馬県など5県が接する県境の地にある病院で、『救急医療は生活圏の医療』であり『県境なき医療』を目指して救急救命センターを運営してまいりました。

人々がいつも安心して暮らせるために、必要なのは、いつでもアクセスできる『医療の門戸』がそこにあることなのではないでしょうか、この地域の『医療の門戸』の一端を担えさせていただければ幸いです。

栄養管理科

山田病院栄養管理科は、管理栄養士2名、調理師3名、調理手2名の合計7名で業務を行っており、「安全でおいしい食事を通して適正な栄養管理・給食管理を実施し、チーム医療に貢献します」を目標に掲げています。入院患者さんへの病態に合わせた食事提供や栄養管理、入院・外来患者さんへの栄養指導などを行っています。

お食事の紹介

当院では新しい調理方法（ニュークックチル）を導入し、入院患者さんへ安心・安全な食事提供ができるよう、食事の管理を行っています。

食事提供に使用している再加熱カートという機械は、食べる直前まで食事の温度を管理してくれる最新の調理設備です。この再加熱カートにより、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままの状態でお召し上がりいただけます。

扉を開けると、患者さんごとに合わせた内容の食事がお膳に準備されています。

再加熱カート

常食

やわらか食

ゼリー食

きざみ食

食事形態は、噛む力が弱い方や飲み込み力が弱くなった方に合わせて様々なあり、食べる状況を確認しながら一人ひとりに合わせた食事内容に調整しています。また、糖尿病や脂質異常症といった病態に添った内容の他に、アレルギー対応、禁止食品対応、食欲不振時の相談にも対応しております。

栄養管理科では食事や栄養に関する相談・指導を随時受け付けています。
管理栄養士はピンク色のラインが入った白衣が印です。
いつでもお気軽にお声がけください。

7月 診療日曜表

	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
内科							○	○	○	○
総合診療科							○	○	○	○
外科							○	○	○	○
小児科							○	○	○	○
眼科										
整形外科										
小児科										
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

8月 診療日曜表

	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

編集後記

昨年とは違い、感染防止に努めながら行事を開催できるようなってまいりました。昨年からは延期されていたオリリンピックの聖火が山田町にもやってきました。感謝の気持ちを忘れずにいたのですが、今回のオリリンピックは関係なく、復興の様子と感謝の気持ちを世界中に発信していくことが大切だと思